

司法試験在学中受験要件について～既修新入生の皆さんへ

(1) 在学中受験要件について

2026年度末(2027年3月)に修了予定時期を迎える皆さんは、2026年7月に行われる司法試験の在学中受験が可能です。司法試験法上の在学中受験の要件は、『1. 当該法科大学院において所定科目単位を修得していること』及び『2. 司法試験が行われる日の属する年の4月1日から1年以内に当該法科大学院の課程を修了する見込みがあること』です。これを受けて、岡山大学法務研究科では、在学中受験の要件を以下のとおり定めています。

岡山大学大学院法務研究科の在学中受験の学長の認定の要件を次の通りとする。

1. 司法試験の在学中受験をしようとする年の3月31日までに、以下の単位を修得(AⅠ科目については「認定」を含む。)していること。

(1) A法律基本科目群Ⅰ基礎科目(法解釈入門を除く。)及び

A法律基本科目群Ⅱ基幹科目のうち基礎科目 30単位以上

(2) A法律基本科目群Ⅱ基幹科目のうち応用科目 18単位以上

(3) D展開先端科目群Ⅰ司法試験選択科目系 4単位以上

2. 司法試験の在学中受験をしようとする年の3月31日までに、学生実務実習規則第2条に基づく実務実習科目の履修要件を満たしていること。

*在学中受験のQ&Aが、法務省のHPに掲載されていますので、参考にしてください。

(https://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/jinji08_00097.html)

(2) 既修1年次で履修する科目について

2025年度開講科目の履修登録に際して、注意が必要な事項を以下にあげました。

既修1年次生は2025年度時間割の1年次及び2年次配当科目の履修が可能です。

一方で、無理なく学修成果をあげられるよう、各年度に履修登録可能な単位数に上限を設けています。既修1年次の上限は36単位ですので、上限を超えないよう注意して履修計画を立ててください。学生便覧のカリキュラムに基づく履修例(P44-51)も参考にしてください。

1. 在学中受験を希望する人

①A法律基本科目群Ⅱ基幹科目Ⅰ1科目26単位は必ず履修してください。

②B実務基礎科目群Ⅰ必修科目の2年次配当科目のうち、「法曹倫理」及び「要件事実と事実認定の基礎」の2科目4単位を必ず1年次で履修してください。「民事訴訟実務」及び「刑事訴訟実務」の2科目4単位は、既修2年次(最終学年)で履修します。

③D展開先端科目群Ⅰ司法試験選択科目系の12科目の中から2科目4単位は必ず履修してください。

以上、①～③により、履修登録単位数が34単位となります。カリキュラム上、あと2単位分に推奨する科目としては、AⅢ選択必修科目「行政法解釈の基礎」があります。

各々、適宜の科目を履修してください。

2. 修了後受験を希望する人

- ① A 法律基本科目群Ⅱ基幹科目ⅠⅠ科目26単位は必ず履修してください。
- ② B 実務基礎科目群Ⅰ必修科目の2年次配当科目全て「法曹倫理」、「要件事実と事実認定の基礎」、「民事訴訟実務」、「刑事訴訟実務」4科目8単位分を1年次で履修してください。

以上、①、②により、履修登録単位数が34単位となります。カリキュラム上、あと2単位分に推奨する科目としては、AⅢ選択必修科目「行政法解釈の基礎」があります。

各々、適宜の科目を履修してください。

(3) 既修2年次(最終学年)での履修について

最終学年では、B 実務基礎科目群の実務実習科目を3単位分履修することが必要です。実務実習科目はⅠ必修科目「ローヤリング」1単位を前期に履修してください。その上で、残り2単位分として、BⅡ選択必修科目「模擬裁判」または「エクスターンシップ・クリニック」のいずれかを履修します。これら実務実習科目には履修要件があります。実務実習科目受験資格等、学生便覧の関連ページの記載をよく確認しておいてください。

1. 在学中受験を希望する人

- ① 前期開講のAⅢ選択必修科目「公法応用演習」「民事法応用演習」「刑事法応用演習」は起案学修主体の科目です。司法試験準備に活用できる推奨科目です。
- ② (2)の1. ②で取り上げたとおり、後期にBⅠ必修科目「民事訴訟実務」及び「刑事訴訟実務」を履修してください。
- ③ 課程修了要件を満たすために必要な科目をいくつか前期に履修してください。

2. 修了後受験を希望する人

最終学年では、課程修了要件を満たすために必要な科目を前期・集中・後期でバランスよく履修してください。前期開講のAⅢ選択必修科目「公法応用演習」「民事法応用演習」「刑事法応用演習」も活用してください。

以上